

令和7年度

# 委員会だより

N O . 2

## 子育て委員会編

北海道PTA連合会

委員会は、道P連の基本方針・基本目標を受けた重点目標にある、研修活動の充実を図る上で中心となるものです。

子育て委員会は、親が輝く活動や家庭教育の実践を交流し、それを集積したものを共有し学びあうため、年3回の会議を持って調査・研究活動を進めています。

### 【今年度の研究テーマ】

「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方はどういうものか」  
～誇りを持って子育てし、親自身も喜びを感じながら輝くこと～

### 【今年度の研究の方向性と取組】

- ① P T A活動への困り感の解消についての協議
- ② 地区研究大会子育て研の交流や講師選定の情報提供
- ③ 親が輝くために学ぶことの交流
- ④ 身の丈に合った活動の継続から持続可能なP T Aを目指す協議
- ⑤ 令和9年度道南大会推薦提言についての協議

◇令和7年10月11日（土）に、第2回子育て委員会が開催されました。その主な内容をお知らせします。

### ◎令和9年度札幌大会の提言について

☆正副委員長会において子育て委員会が令和9年度札幌大会への提言を推薦するにあたり、余裕を持って取り組むためにも、今年度中に単Pや市町村Pの取組について意見を聞いてみることに決定。

☆何について意見を聞くことにするかという話し合いでは、第1回委員会で話題となったものの中で、分科会の話題となりやすく提言する方も日常的な実践をもとにするのに適切な話題としては、あいさつやコミュニケーションにかかわることを聞いてはどうかということとなる。そこであいさつやコミュニケーションについて取組そのもの、家庭教育との関連性、取組の浸透度について回答を依頼したところ600近い数の回答をいただく。

☆その結果をもとに委員で話し合いをすすめたなかで、よい実践をしていると思う単Pの名前も挙げられた。またそれに関連して以下のような話題提供もあった。

- ・保護者と子どもがいっしょに楽しめる取組はよい。
- ・単Pが主体となった企画で保護者と先生が一体感が生まれた実践。
- ・スクールバスだと地域との関わりが難しい。
- ・地域と学校と保護者が連携をとれるのが望ましい。
- ・アンケートの趣旨がもう少しはっきりすると回答しやすかったのでは。
- ・家庭内であいさつをしているのか、あいさつできない大人もいる。
- ・子どもたちがあいさつ運動をしていることを、保護者は知っているのか。
- ・習慣化は家庭の仕事。我が家のマイハウスルールはあるか。

◎各地区P連の研究大会や研修会の交流

- ・大人の困り感と子どもの困り感。
- ・ノルマがあつて堅苦しい研究大会でなく、大人も勉強できるフェスの開催。
- ・講演のテーマに沿ったグループ討議をやめ、いくつかのテーマをつくりプレゼンしてグループ分けするようにした。
- ・地区P連内で人数減となっており、研究大会や子育て研が成立しづらい。
- ・市単独で地区P連を構成しているところと、管内で地区P連を構成しているところの違い。
- ・ミネラル不足が発達に与える影響の講演。
- ・母親委員会が主体となった大会企画運営



☆次回の委員会は、12月6日（土）、13：00～です。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス [info@hokkaido-pta.jp](mailto:info@hokkaido-pta.jp)